

新規作付希望者の不安と疑問にピンポイント提案 園芸 YARUBE (やるべ) セミナー



各品目の担当者が参加者一人ひとりと面談

JAは1月14日、園芸品目の新規作付希望者を対象に「園芸 YARUBE セミナー」をJA本店で開きました。

JAは重点品目のアスパラガスやリンドウなど6種の野菜と4種の花きを紹介し、栽培や経営の流れ、初期投資額や収支計画、助成制度などを説明。参加した11人との個別面談では、不安要素や課題に対し、個々に合った内容の解決策や品目提案を行いました。

参加した40代女性は「作付け品目の視野が広がった。今後の方向性が見えてきた」と前向きな姿勢をみせました。JAはセミナー参加者の意見を参考に、今後も新規作付希望者の声にこたえ、支援に力を注ぎます。

餅振る舞い来店者と交流 新年祝い北上支店が初めて企画



一つひとつ丁寧に、餅に味を付ける女性部員

北上支店は1月4日、組合員や地域住民との触れ合いのきっかけづくりを目指し、つきたての餅を来店者に振る舞い新年を祝いました。

この振る舞いは、支店行動計画の1環として初めて企画しました。支店職員が約6キロのもち米を威勢よくつき、女性部北上地域支部北部支部の飯豊支部員が手際良く、あんどこときな粉で味を付け、それぞれ1個ずつ振る舞いました。支店内は笑顔で溢れ、来店者からは「つきたてでおいしい。職員と交流することもでき、楽しかった」と好評でした。

JAでは、伝統的文化を継承した運営を行い、地域づくり運動を展開するため、全27支店が「支店行動計画」を策定しさまざまな取り組みを行っています。JAは、これからも支店を核として活動していきます。

「花巻まんま一ず」東北農政局長賞を受賞 地産地消活動が高評価



笑顔をみせる花巻まんま一ず代表の齊藤さん(中)

JAの食育リーダー「花巻まんま一ず」が、創意工夫のある地産地消の活動をした団体・個人に贈られる「平成27年度地産地消優良活動表彰」の東北農政局長賞に輝きました。

同団体は、就学前の子どもたちや親子向けの料理体験を行っており、食の大切さを伝えている点が高く評価されました。料理体験で作るおにぎりに、地元産の雑穀を取り入れるなど積極的に地元食材を使用。四肢五感を全て使う料理教室と好評を得ています。

代表の齊藤洋美さんは「子ども達に調理法を教えるだけでなく、心も成長できるように更に取り組んでいきたい」と力強く語りました。

雑誌「ちゃぐりん」を使って親子で手芸に挑戦 児童館と共同開催



(一社)家の光協会の講師(左上)に教わる参加者

JAと遠野市の青笹児童館は1月16日、同児童館で「親子工作教室」を開きました。毎年JAが講師派遣や昼食の準備をするなど、児童館と共同で開催しています。

親子18人が参加し、「(一社)家の光協会講師の指導のもと、雑誌「ちゃぐりん」を活用して毛糸を使った「鏡もちスノーマン」作り挑戦。白の毛糸から雪だるまを作り、フェルトで作ったミカンを頭に載せて作り上げました。

菊池実樹ちゃん(8)は「かわいく作るのが難しかったけれど楽しく出来た」と笑顔を見せ、母親の和代さん(41)は「親子で作業する良い機会となり楽しめた」と話しました。

自分を磨いて婚活力アップ JA 婚活スキルアップセミナー「男みがき講座」



自分磨きの知識を蓄える参加者 JAの婚活事業については本紙P15をご覧ください

JAは1月17日、プロの結婚相談員を講師に登録者自身を磨くためのJA婚活セミナー「男みがき講座」を花巻市のホテルで開きました。

参加者はJA婚活事業への登録男性13人。(株)ウェブの清水道子さんの指導のもと、女性との接し方やアプローチ法を習得。他にも洋食のコース料理を前に、マナーや立ち振る舞い、身だしなみや会話術などを実践形式で学びました。参加した30代男性は「小さな心遣いで相手への伝わり方が変わる。自身がついた」と目を輝かせました。

JAは、出会いの場の提供のほか、今後もスキルアップ講座を展開し、輝く自分磨きの支援にも力を注ぎます。

今年のリンゴ栽培始まる 豊作願い、各地で剪定指導会



真剣な眼差しで、どの枝を切り落とすか考える参加者

花巻りんご連絡会は1月13日、花巻市成田にある花南(かみな)わい化林檎生産組合の団地内でリンゴ剪定指導会を開きました。

生産者約40人が参加し、小原昭男会長が「今年初めての仕事になるが、剪定は重要な作業。しっかりと学び、作柄に結び付けてほしい」とあいさつしました。中央農業改良普及センターの河田道子さんが、樹齢20年と6年の木を剪定指導。日当たりや作業性を考慮し、参加者の意見を取り入れながら枝を切り落としました。河田さんは「去年の管理を振り返りながら今年の作業を進めてほしい」と呼びかけました。

JA管内の花芽調査では、花芽率は平年並み。弱小・褐変花芽率は平年を下回りましたが、地域によりばらつきがあります。リンゴ剪定指導会は2月まで12会場で行われる予定です。